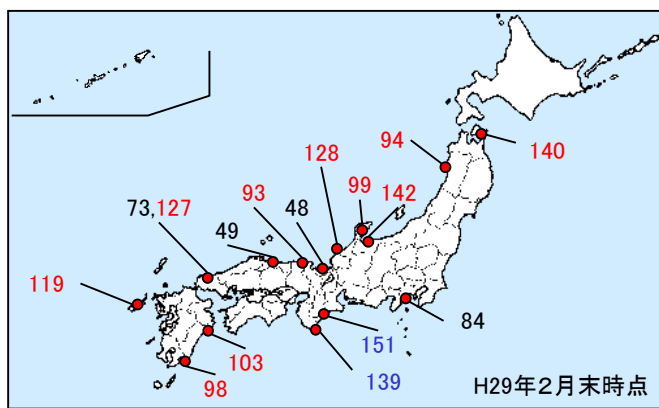


定置網漁業

漁業の概要

定置網とは固定漁具であり、魚が来遊する期間または周年において一定の場所に常設し、魚群を漁具内部に滞留させる仕掛を持つ施設である。毎日その魚を「網起こし」により漁獲する。



計画数: 16件 (実証終了: 4件、実証中: 10件、実証予定: 2件)

取組と成果

【生産性向上】

- 漁場に最適な網へ構造改良(2段箱→1段箱等)または新たな機能を設けることで、効率的な操業を実現
- 網の敷設位置の最適化による漁獲効率の向上
- 金庫網に漁獲物を留め置き、出荷調整することで魚価を向上
- 定置網モニタリングシステムの導入により出港前に陸上において操業の判断が可能
- 目合拡大、網地に新素材を用いて、網成の変形抑制

【コスト削減、省力化・安全対策】

- キャッチホーラー等の新たな漁撈装置やフラットデッキ等を導入した改革型漁船によるコスト削減、省力化・安全対策
- 網構成の変更による漁具費用削減と省力化

【販売経路・高付加価値化】

- 漁協直売所、道の駅等での販売、宅配便利用による直販。
- 漁船に強制循環活魚艙を設置し、活魚出荷の増加
- 地元魚市場だけでなく、他の大型産地魚市場へも出荷することによる収入増加

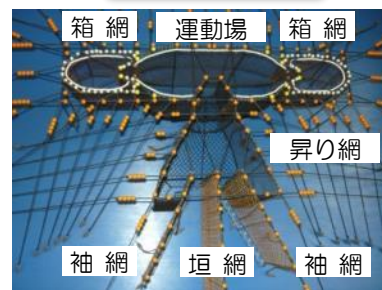
【地域貢献・魚食普及】

- 地元の小・中学校の給食に食材提供

【資源管理】

- 網目拡大により小型魚の漁獲率を低減

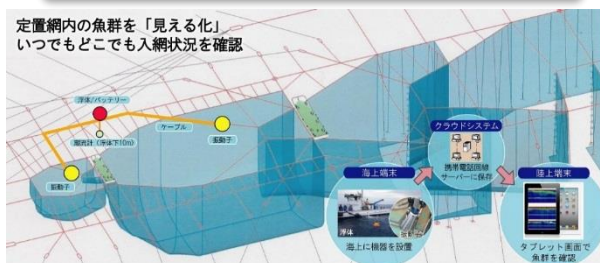
改良マント網



フラットデッキ



定置網モニタリングシステムの概念図



今後期待される取組

- 網地、結束部に新たな強化素材を用いた定置網の普及
- 魚種、魚の量、潮流などを陸上で把握する魚群探知機の普及 (無駄な操業が減り、余分な氷代、燃油代の削減)
- シャーベット氷を用いた高鮮度化
- 金庫網や水中ファスナー等を用いたクロマグロ等の資源保護
- フィッシュポンプを用いた船上への漁獲物の水揚げ

フィッシュポンプ

